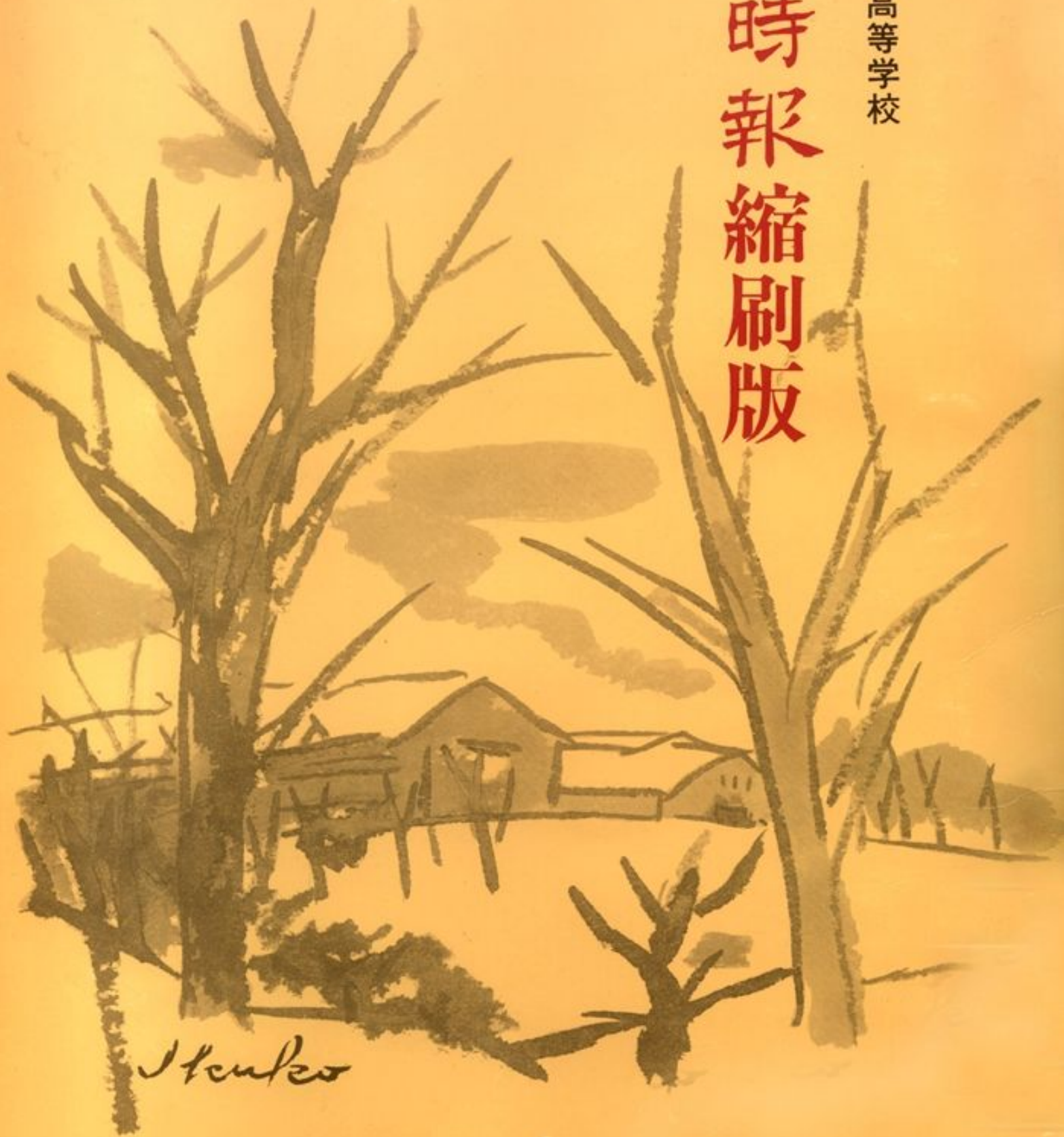
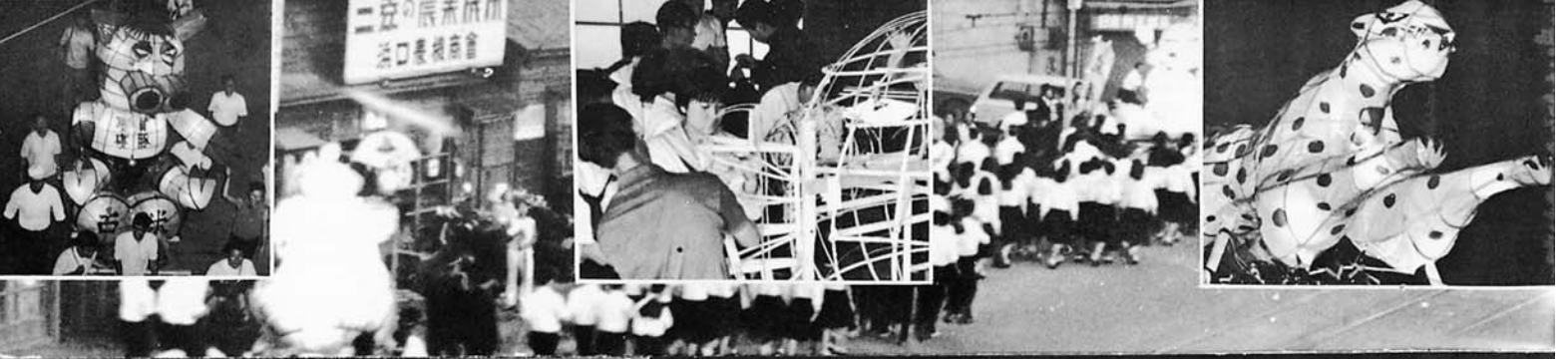


北海道函館東高等学校
創刊百号記念

青雲時報縮刷版

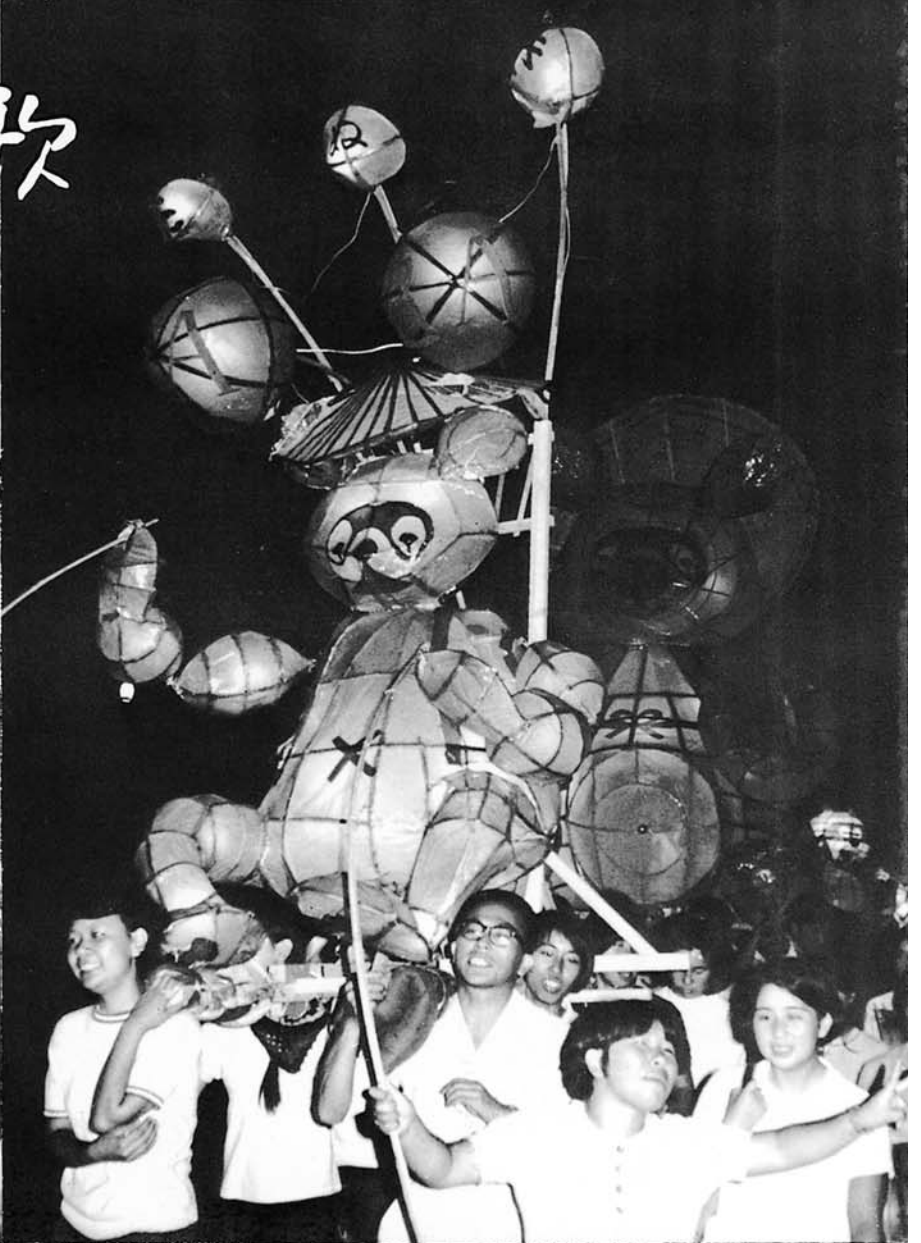


Stevens



グラビア

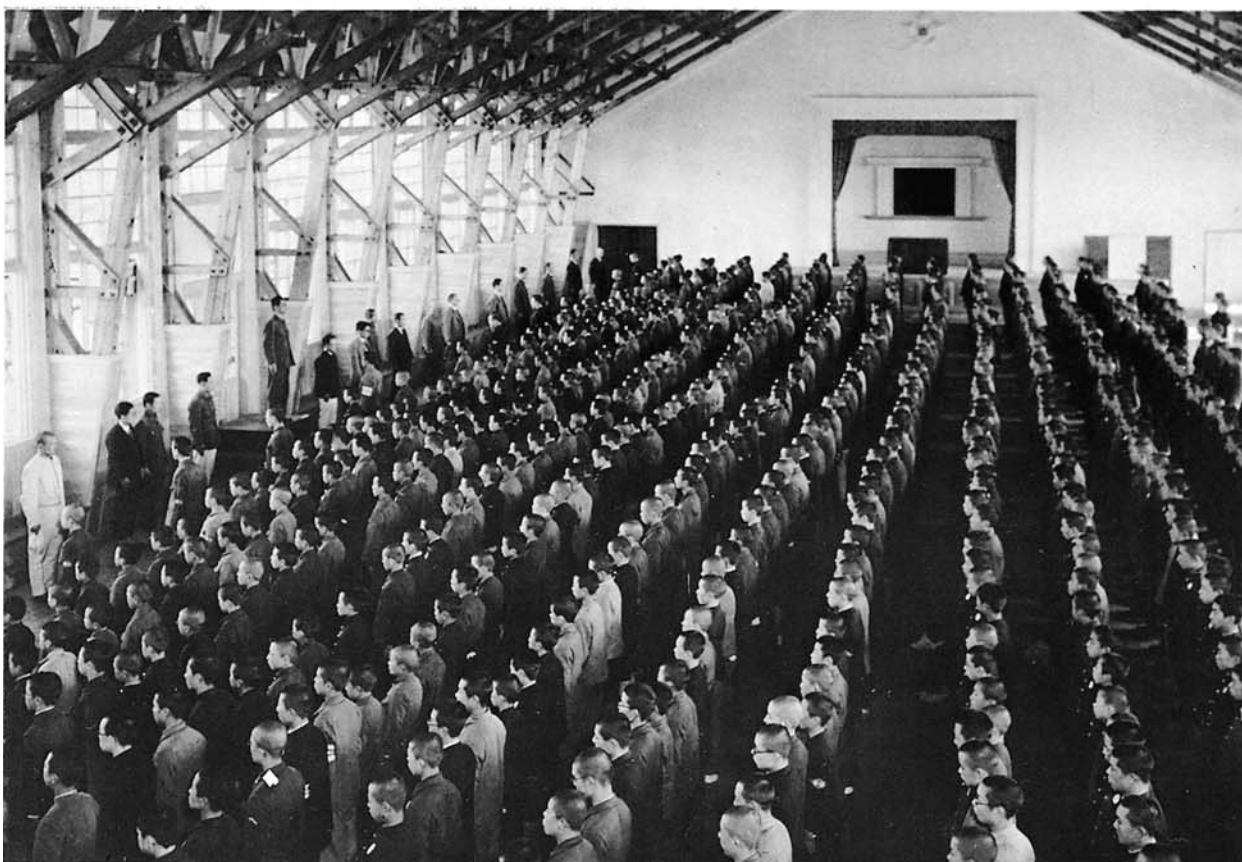
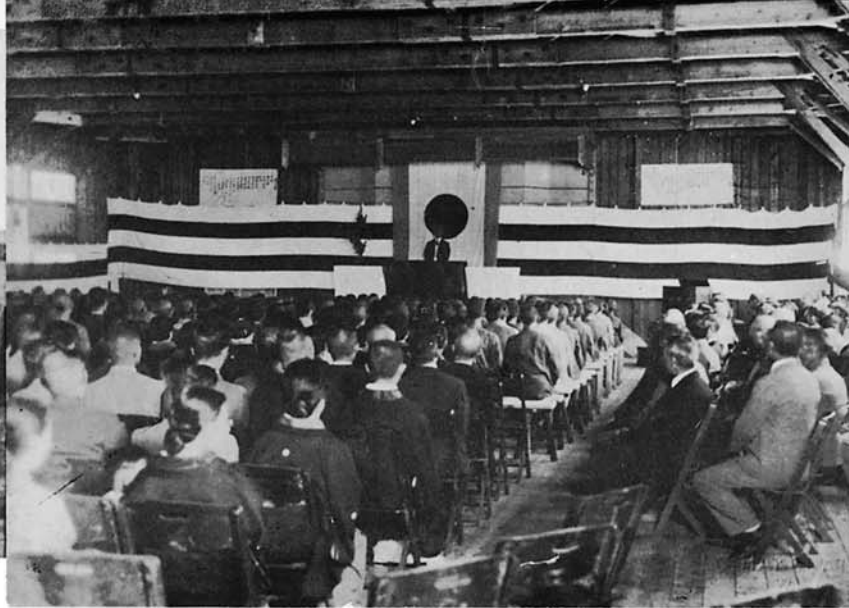
青雲台讚歌



第一回行灯行列 (昭和31年)



梅津翁夫妻を招待しての感謝会は仮校舎で行われる。本校舎建築資金としての65万円寄附に感謝を表した



▲市中第一回入学式は、昭和15年4月6日船見町仮校舎で行われ、一年生四学級二一八名が晴れて入学した
 ▼昭和20年入学の生徒達。戦勝祈願に函館八幡宮に参拝する。当時は電車は御法度で歩いて行った。この写真の生徒の多くは戦後の混乱と男女共学等の変革の嵐の中で東高一回生となる
 ▲一日の修練は朝礼で始まる。当時の資料によれば、月曜・教育勅語奉誦・御製奉詠、水曜・校訓斉唱・校歌合唱、金曜・青少年学徒に賜りたる勅語奉誦愛国詩吟、となっている



礎を築く

＝ 市中時代 ＝



東高全景
左は最近の応援団、女子も見える



▲校舎裏の「忠誠園、(現ひんがしの杜)での一年生の自然観察

◀整地作業、こうして現在の東高の誇りである広大なグラウンドが出来あがったのだ



▲新校舎を磨く、先輩の汗は伝統の光となった



▲雨にも負けず
(40年の大雨)



▲雪にも負けず (32年の大雪)



学園下描

= 東高時代 =

朝夕のラッシュにも負けず▶

▼33年図書館の開架式は実現した



▶購買部に殺到する欠食児童(?)。食堂完成までこの生存競争は続いた(33年)



▶年一回の生徒総会は四月に行われ予算案が主に論議された。しかし年によっては波乱の総会にもなった



▶心優しき東高生、花を愛でるその心は規律を守る良い校風を生み出した(かな?)
44年に始まった花壇造り



▶各種大会に出場する選手は、この壮行会で激励を受けた



▶「青雲台も今宵限り～」予餞会は伝統の行事であったが、時々中止の憂き目を見ている



▶33年に生徒会主催で開かれたフォークダンスは男女共学の華でもある
▲女生徒も頑張る。キャラメルが待ってるゾノ
(校内マラソン大会)



▲共学後初めての夏休みのある日 (25年8月)



山に

▼夏休みはキャンプに限る。このムード最高 (34年)

◀日曜・祭日はレクの日、クラブやクラス単位で良く遊びました。伝統!! (31年横津山頂にて)



▼イモ、を洗うがごとし、とはこのような状態なのだ!! (32年穴澗にて)



キャンプ

共学時代の華が咲いた
男女共学のもと東高はのびやかな校風がただよう。誰れもが高校時代を懐かしむ、それは青春の想い出がそこにあるからだ